

お知らせします

厚岸の学びの状況

～令和3年度 全国学力・学習等状況調査の結果について～

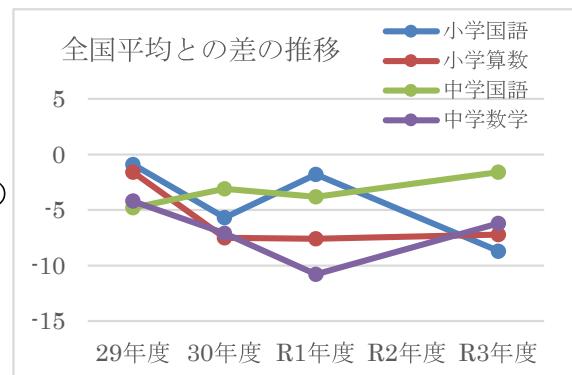
令和3年5月27日に全国調査が実施され、過日結果の公表がされました。今回の調査では、国語、算数・数学の2教科と学習の状況をとらえるための児童・生徒質問紙調査が実施されました。

この調査で把握できる学力や学習状況は子どもの状況の一端ですが、学校教育活動の状況や児童生徒の学びの状況と傾向を捉えることで、今後の教育活動の改善を進めていきます。

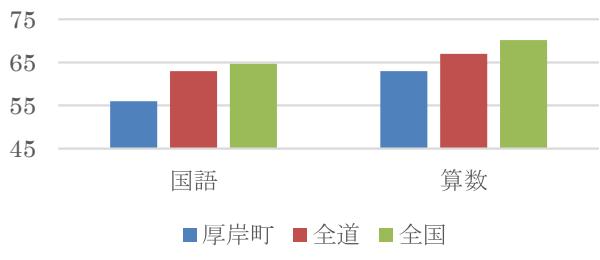
【令和3年度 全国学力・学習状況調査の概要】

- 1 調査期日 令和3年5月27日
- 2 調査対象 小学校6年生 … 50人
中学校3年生 … 69人
- 3 調査内容 (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学)
(2) 質問紙調査
①児童生徒に対する調査
②学校に対する調査

《厚岸町・全道・全国の平均正答率(%)》



小学校の平均正答率



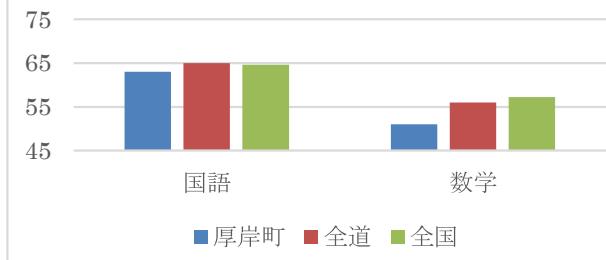
《小学校の状況》



国語「読む」「書く」算数「計算」「図形」に課題

- 国語：「話すこと・聞くこと」
- 算数：「測定」「データの活用」
- 国語：「書くこと」
- 算数：「数と計算」「図形」
 - ・国語では、文章全体の内容の中心を読み取ることができていますが、文章を書くことは、全国平均値と比較して、大きな差が見られます。
 - ・算数では、表やグラフの読み取りや数量関係はできています。面積を求めたり、計算の仕方を説明したりする問題で正答率が低いです。全体では、全国平均値と比較して大きな差が見られます。

中学校の平均正答率



《中学校の状況》



国語は全国とほぼ同等。数学は「図形」に課題

- 国語：「書くこと」「読むこと」
 - 数学：「資料の活用」
 - 国語：「話すこと・聞くこと」
 - 数学：「図形」
 - ・国語の「書くこと」「読むこと」は、全国平均値を上回っています。自分の考えを交えて書く問題の正答率は、低い傾向です。
 - ・数学は、「資料の活用」で全国平均とほぼ同等でしたが、他の領域では、低い状況でした。特に「図形」領域で、全国平均値と比較して、大きな差が見られます。
- …正答率の高い領域
●…正答率の低い領域

《成長の実感と日常の生活、周囲の関わり》

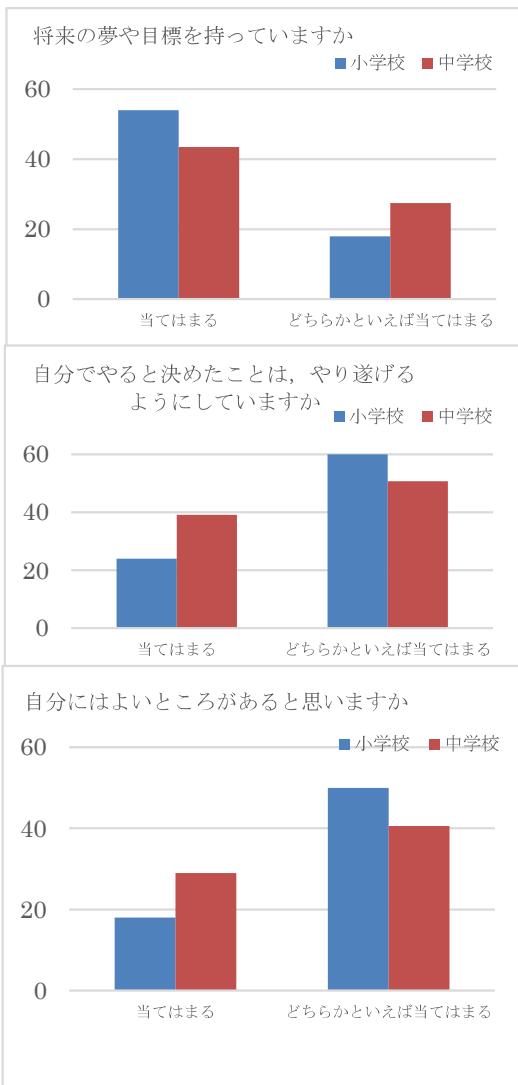
「将来の夢や目標を持っていますか」の質問で、小・中学校ともに7割以上の子どもが、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答しています。また、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」という質問では、8割以上、中学校では9割の子どもが当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答しています。自分なりに努力しながら夢や目標に向かって成長している意識の表れです。

一方で、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問では、やや低い傾向が見られます。自分のよさに気づくためには、学校生活の中で先生や友達との関わりや、自分の努力を実感することのほか、家族はもちろん周囲の大人に褒められたり、認められたりすることも大きな役割を果たします。結果だけでなく、努力や過程を認め励ます周囲の関わりが子どもの成長には必要です。

目標を一つずつ達成しながら成長するために、よりよい大人の関わりも期待されます。

I C Tへの期待

「学習の中で I C T 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」では、9割以上の子どもが「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答しています。I C T 活用に対する意欲がうかがえます。学校でもタブレットを使った学習が積極的に実施されています。



「わかった」「できた」を実感しながら学び続ける子ども

学校では

- ・楽しく学ぶ環境、一人一人にあわせた学びの環境づくりに努め、学習のルールや学び方を指導します。
- ・I C T を活用し、自分で考え、仲間と深め合う力を育てるよう指導法を工夫します。
- ・体力、健康、安全への意識向上を継続的に図ります。
- ・学校間の情報共有を図り、連携を深めます
- ・学校の様子をわかりやすく保護者へ伝えます。

教育委員会では

- ・町内の学力・学習状況を分析し、成果や課題から改善策を提示します。
- ・指導方法の工夫改善を進め、少人数指導や複数支援体制の学習を推進します。
- ・I C T を活用した学習が充実するよう環境を整えていきます。
- ・情報館や分館、図書館バスの活用を積極的に進め、学校との連携を図ります。
- ・社会性や人間性を高める体験活動の充実を図ります。

家庭では

- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の生活リズムを整え、継続しましょう。
- ・家で学習する環境と習慣を整え、継続しましょう。(学習時間と読書時間の確保)
- ・家族の一員として、お手伝いなどの役割を与え、実行するようにしましょう。
- ・よい行いや努力の過程をたくさん認め、個性を伸ばし、自信を持てるようにしましょう。
- ・親子で情報端末機器の使いかたのルールをしっかりと確認し、適切に使うようにしましょう。